

特別展

さと

氷見の郷の古代

— 飛鳥・奈良・平安 —



令和2年10月16日(金)~11月8日(日)

氷見市立博物館 特別展示室 午前9時~午後5時

休館日 月曜日(10月19日、10月26日、11月2日)

資料解説会 10月17日(土) 午後2時より(参加自由)

入館にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策にご協力ください。
また、状況により内容が変更・中止になる場合があります。ご了承ください。

観覧
無料

古代氷見の郷

7世紀代の飛鳥時代から、8世紀代の奈良時代、9世紀から12世紀前半までの平安時代を、日本史の歴史区分で古代といいます。

古代の氷見は越中国射水郡に属し、現在の氷見市域には阿努郷、
 宇納郷、古江郷、布西郷の四つの郷がありました。

このうち阿努郷を本拠地とし、8世紀半ばには射水郡の大領として『万葉集』にその名がみえるのが安努君広嶋です。安努君氏は氏寺として氷見市小窪に瓦葺きの伽藍を備えた古代寺院を建立したとされ、また氷見市域を越えて他の郷に進出していたことでも知られます。

こうした飛鳥時代から奈良時代、平安時代の氷見を知る手掛かりとなるのが、市内に154か所ある古代の遺跡です。特に平成13年以降、能越自動車道建設などに伴って実施された大規模発掘調査では、古代に関しても多くの発見がありました。

今回の特別展では、そうした大規模発掘で出土した考古資料や館蔵資料を通じて、古代の氷見を紹介します。



鞍川E遺跡 瓦塔片



稻積川口遺跡 墨書土器「□大家」



新保野際遺跡 須恵器



稻積川口遺跡 馬銚

氷見市立博物館

〒935-0016 富山県氷見市本町4番9号
 TEL.0766-74-8231 FAX.0766-30-7188
 E-mail : hakubutsukan@city.himi.lg.jp
 U R L : <https://www.city.himi.toyama.jp/section/museum/>

●交通機関

鉄 道 / JR 氷見線氷見駅下車、北西へ500m 徒歩7分。

バ ス / 高岡駅前から加越能交通バス氷見方面行、「氷見市民会館前」下車、徒歩1分。

自動車 / 能越自動車道氷見インターから東に3km。

●氷見市立博物館は、氷見市教育文化センター内にあります。

